

# 2019年度 環境活動レポート

## 環境経営方針

1. 経営理念
2. 環境経営方針

## 会社概要

1. 事業者 及び代表者名
2. 所在地
3. 事業内容
4. 事業規模

## 組織体制

1. 環境管理責任者
2. 組織体制

## 環境経営目標

## 環境への取組

## 取組実績と評価



# 環境経営方針

## 1. 基本理念

私たちは環境保全への取り組みが経営課題であると認識し、主要製品である環境試験装置、カロリーメータ、クリーンルーム、一般空調装置、無響室などの設計、製造、販売及びメンテナンスを通じて広く社会の環境技術革新に寄与するとともに、持続可能な社会の発展に貢献します。また、温暖化防止対策や廃棄物対策などにより、製品の環境負荷低減に努力します。

## 2. 環境経営方針

- 製品並びにサービスが与える環境影響を自覚し、その改善を図ると共に汚染を予防します。
- 環境マネジメントシステムを継続的に改善します。
- 当社に適用される環境関連法規、自主基準及び同意するその他の要求事項を守ります。

# 会社概要

## 1. 事業者 及び 代表者名

株式会社 大西熱学  
代表取締役社長 大西 康仁

## 2. 所在地

東京都墨田区緑1-19-9

## 3. 事業内容

環境試験装置、各種カロリーメータ、クリーンルーム、バイオ関連装置、各種恒温恒湿槽、超低温装置、VOC測定装置、CO2オイル循環率測定装置、冷凍冷蔵装置、冷暖房・給排水衛生設備、空調関係機器等

以上に関する諸装置の設計、製作、工事の請負、販売、サービス業務等の一切の関連事業、コンピューターソフトの開発・販売

## 4. 事業規模

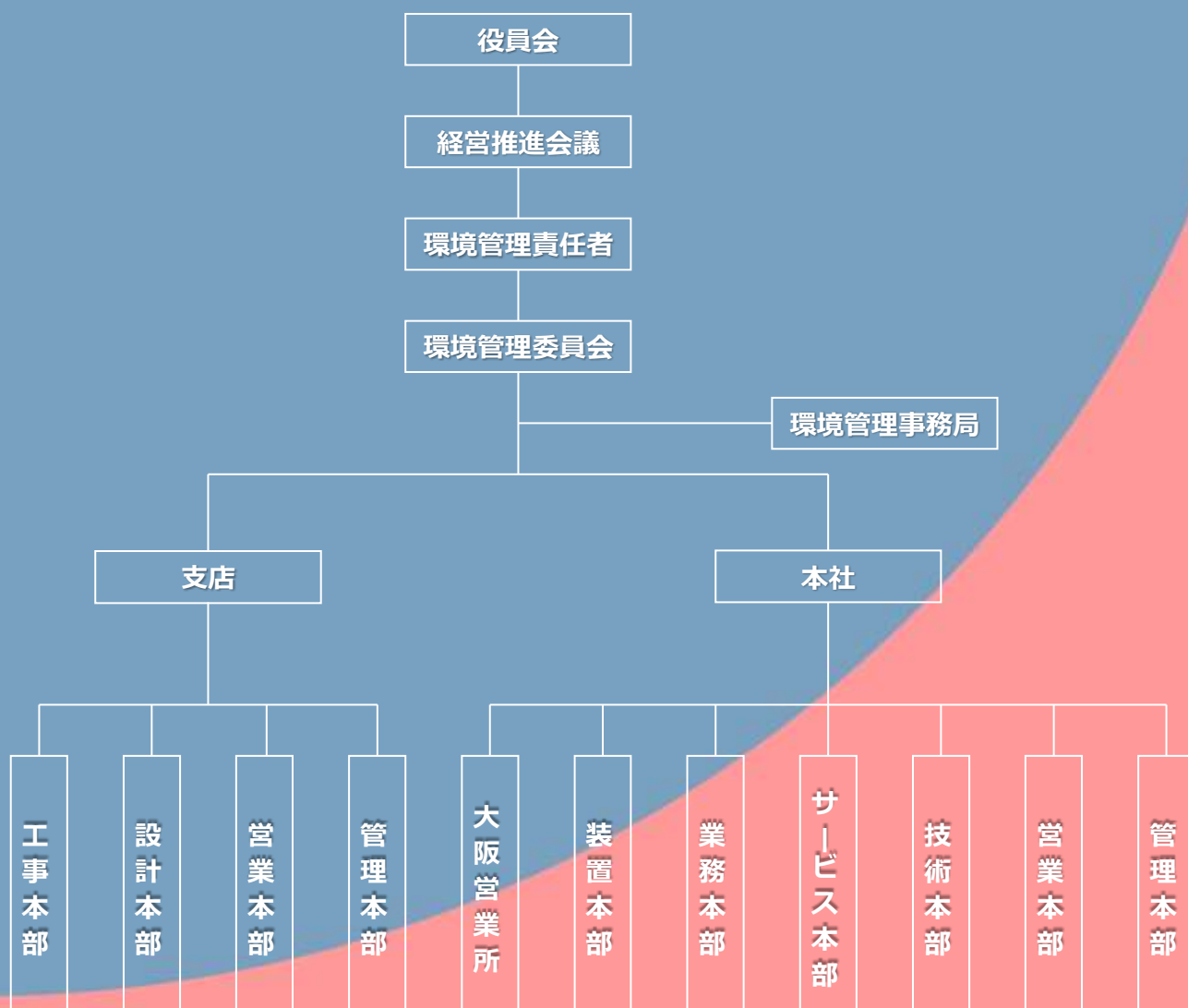
資本金 1億円  
売上高 112億円  
事業所 中部支店  
大阪営業所、土浦営業所、静岡営業所  
小牧事業所、サービスセンター  
白井工場  
社員 250名

# 組織体制

## 1. 環境管理責任者

- 1) 環境管理責任者 田中 成知
- 2) 連絡先 環境管理事務局  
TEL : 03-5625-0024  
FAX : 03-5625-0026

## 2. 組織体制



# 環境経営目標

## 1. 社員に対して環境教育を実施する

2. 電気使用量	2015年度比	3%	削減
3. 水道使用量	2015年度比	1%	削減
4. ガソリン使用量	2015年度比	3%	削減
5. ゴミ排出量	2015年度比	3%	削減
リサイクル率	2015年度比	3%	向上

# 環境への取組

## 1. 社員教育

- 環境社会検定（eco検定）の取得推進
- 環境取組企業への視察
- 結果のビジュアライズ
- エコパトロールの実施

## 2. 電気使用量削減

- 蛍光灯の計画的交換（省エネタイプ）
- 省エネタイプのOA機器を推進
- 空調の設定温度（冷房時26℃以上、暖房時22℃以下）遵守  
-風量を強風設定にし、設定温度を守る
- クール・ビズ／ウォーム・ビズ

## 3. 水道使用量削減

- 炊事場、洗面台、洗濯機、トイレなどにおける節水の励行

## 4. ガソリン使用量削減

- エコドライブの徹底
- 公共交通機関の使用促進
- ライドシェアリング（相乗り）の促進

## 5. ゴミ排出量削減 リサイクル率向上

- ゴミ分別化の徹底（分別表の活用促進）
- 回覧物等の電子化促進
- 紙ベースのカタログ、資料などの受領削減（ネット配信利用促進）

# 取組実績と評価（1）

## 1. 目標に対する実績・評価

### 1) 社員教育

- ① 環境社会検定取得推進 合格者 8名 / 取得者合計 62名
- ② 電気、ガソリン、水道使用量、ゴミ排出量を定期的に社内ネットにて公開結果のビジュアライズとして数値を物の量に置き換えて報告  
※ P. 6, 7 に詳細記載
- ③ 環境関連イベントへの参加、および講習会、セミナー
  - 2019年07月 エコアクション21 普及セミナー
  - 2019年12月 エコプロダクツ2019
  - 2019年12月 改正フロン抑制法に関する説明会
  - 2020年01月 改正フロン抑制法説明会

### 2) フロン管理システムの運用

### 3) 2020年2月 白井工場 内部監査（エコパトロール）実施

# 取組実績と評価 (2)

	電気使用量 (kWh) [Co2換算値] (kg-Co2)	水道使用量 (m3) [Co2換算値] (kg-Co2)	ガソリン使用量 (ℓ) [Co2換算値] (kg-Co2)	ゴミ排出量 (kg)	リサイクル量 (kg) [リサイクル率] (%)
2015年度	468,502 [ 232,377 ]	1,850 [ 666 ]	159,207 [ 369,360 ]	38,658	11,928 [ 30.8% ]
2016年度	414,295 [ 203,419 ]	1,756 [ 632 ]	149,778 [ 347,484 ]	32,419	12,582 [ 38.8% ]
2017年度	446,321 [ 211,556 ]	1,611 [ 580 ]	156,772 [ 363,712 ]	32,280	10,735 [ 33.2% ]
2018年度	414,194 [ 196,328 ]	1,645 [ 592 ]	157,726 [ 365,925 ]	33,598	12,336 [ 36.7% ]
2019年度	435,057 [197,951]	1,701 [ 612 ]	157,489 [ 365,374 ]	31,510	11,874 [ 37.6% ]
削減率 2015年度比	-7.1% 削減	-8.1% 削減	-1.1% 削減	-18.5% 削減	6.8% 向上

- ※ 対象事業所 : 本社、S C、白井工場、土浦営業所、大阪営業所、中部支店、小牧事業所、静岡営業所
- ※ 電気使用量 : 東京電力株式会社 CO2排出係数を使用
  - ・2015年度 0.496
  - ・2019年度 0.455
- ※ リサイクル率 = リサイクル排出量÷ゴミ排出量

# 取組実績と評価 (3)

## ◎ 年度別グラフデータ

### ① 電気使用量

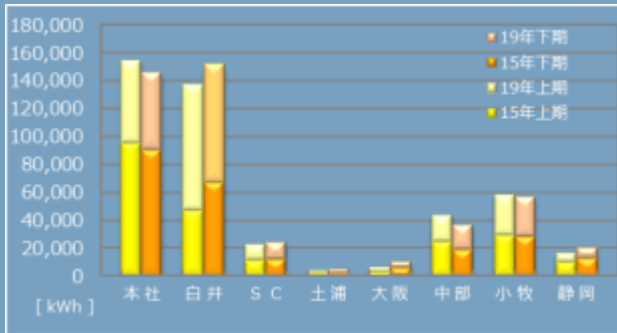
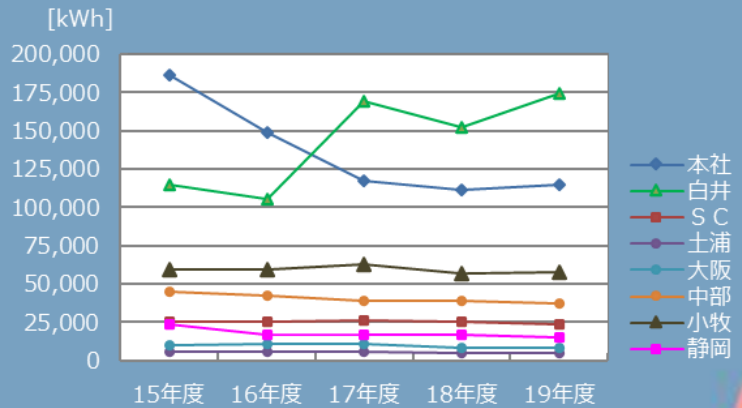
2015年度比3%の削減目標に対し、

**7.1%の削減**

◇基準年である2015年度対しての

削減目標は達成しましたが

前年比では増加。



	電気使用量 (Wh)	CO2換算値 (kg-Co2)	電気使用量 2015年度比
15年度上期	225,899	112,046	-1.5% 削減
19年度上期	222,527	101,250	-12.4% 削減
15年度下期	242,603	120,331	-12.4% 削減
19年度下期	212,530	96,701	-12.4% 削減

### ② 水道使用量

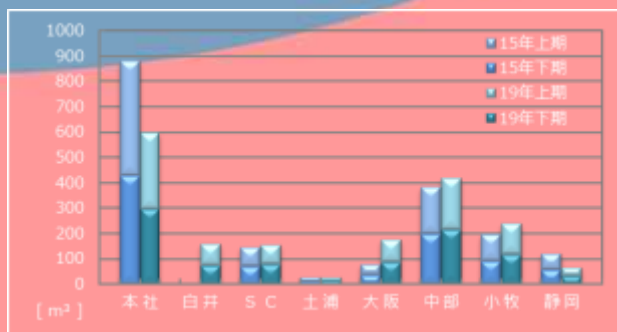
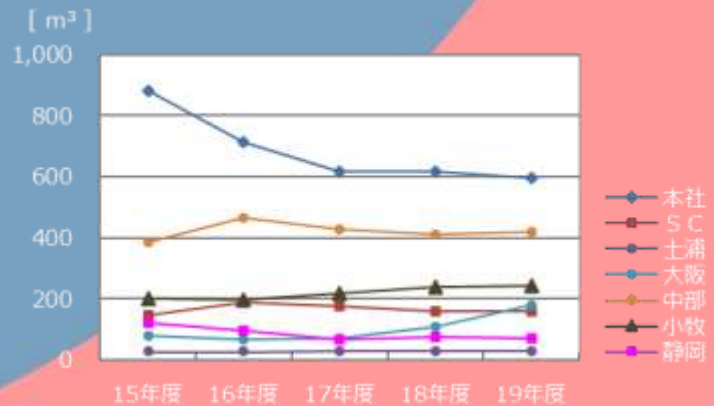
2015年度比1%の削減目標に対し、

**8.1%の削減**

◆基準年である2015年度対しての

削減目標は達成しましたが

前年比では増加。



	水道使用量 (m³)	CO2換算値 (kg-CO2)	水道使用量 2015年度比
15年度上期	946	340	-10.1% 削減
19年度上期	850	306	-5.9% 増加
15年度下期	904	326	-5.9% 増加
19年度下期	851	304	-5.9% 増加



# 取組実績と評価 (4)

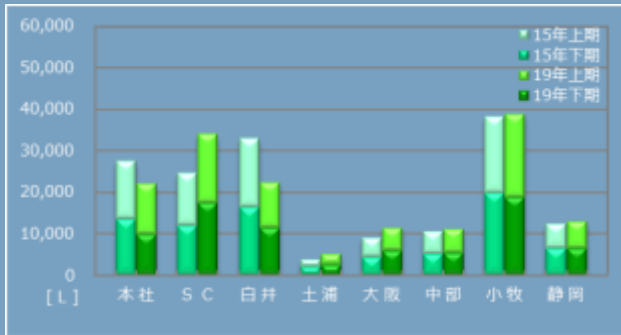
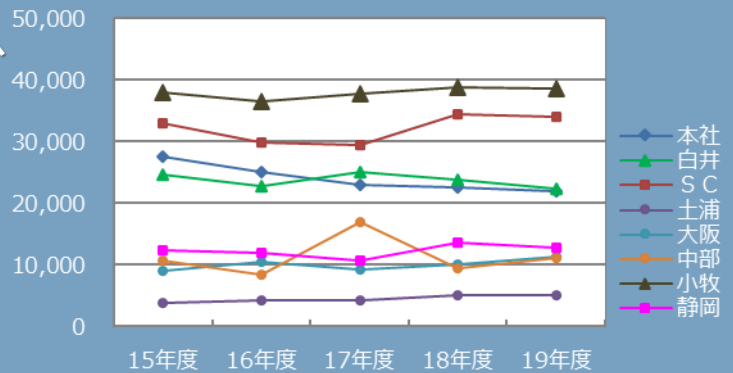
## ◎ 年度別グラフデータ

### ③ ガソリン使用量……………

◆2015年度比3%の削減目標に対し、  
**1.1%の削減**

目標に対しては未達となりますが  
昨年度と比べ全社的に使用量の  
低減を達成。

[ L ]



	ガソリン使用量 (ℓ)	CO2換算値 (kg-CO <sub>2</sub> )	ガソリン使用量 2015年度比
15年度上期	80,464	186,677	-0.7% 削減
19年度上期	79,921	185,417	
15年度下期	78,743	182,683	-1.5% 削減
19年度下期	77,568	179,957	

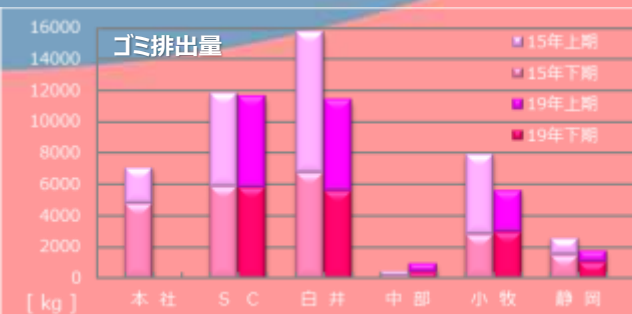
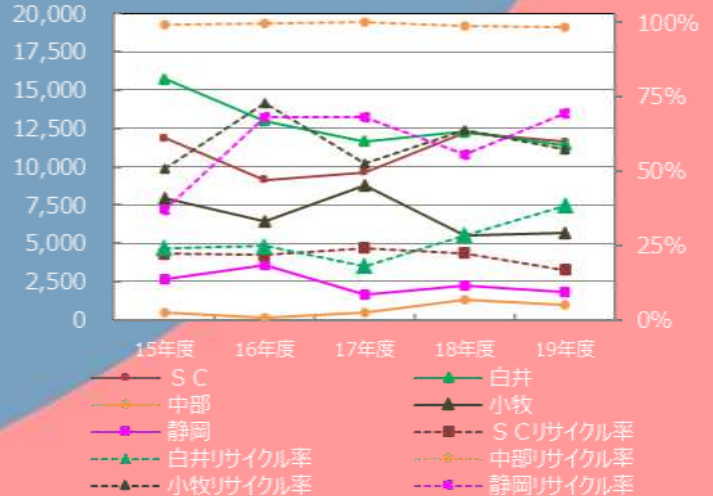
### ④ ゴミ排出量……………

2015年度比3%の削減目標に対し、  
**18.5%の削減**

### ⑤ リサイクル率……………

2015年度比3%の向上目標に対し、  
**6.8%の向上**

[ kg ]



	ゴミ排出量 (Ig)	リサイクル率 (%)	ゴミ排出量 2015年度比	リサイクル率 2015年度比
15年度上期	21,495	30.8%	-27.4% 削減	6.9% 向上
19年度上期	15,598	32.0%		
15年度下期	17,163	30.9%	-7.3% 削減	6.7% 向上
19年度下期	15,913	41.4%		



# 取組実績と評価 (5)

## 3. 活動結果の評価・改善策

### 1) 活動結果

2019年度は全ての項目で目標を達成する事が出来た。

ただ目標は基準年である2015年比であり、前年と比較すると微量ではあるが増加している項目がある。

主に白井工場での電力・水道使用量の増加であり  
売上や社員数の増加による稼働率の上昇が主な要因と推測される。

2020年度からは削減目標の比較対象を2019年度に変更する。  
2015年からの4年間は本社・静岡営業所の移転や、工場のスマートメーター導入など、大きな要因により大幅な削減目標の達成を実現していた。

暫くの間、大きな変更は期待できないため、今後は社員一人一人の小さな努力の積み重ねが重要である。

### 2) 改善項目

- ・目標・取組み内容の分析・検討
- ・結果および現状を分析し、取組み内容を見直しをする。
- ・例年、継続して削減出来ている事業所の取組み内容を分析し他の事業所に展開する。

## 4. 環境関連法規等の遵守状況

分類	環境法規の名称	分類	環境法規の名称
	環境基本法	エネルギー	エネルギーの使用の合理化に関する法
大気	大気汚染防止法	化学物質	化学物質の審査及び製造等の規制に関する法
水（取水）	工業用水法		P R T R法
	ビル用水法		フロン類排出抑制法
水（排水）	水質汚濁防止法		P C Bを含む廃棄物の処理対策について
	下水道法		P C B廃棄物特別措置法
	浄化槽法		毒物及び劇物特別措置法
土壌	土壌汚染対策法	危険物・ガス	消防法
騒音	騒音規制法		高圧ガス保安法
振動	振動規制法	立地・組織	工場立地法
悪臭	悪臭防止法		特別工場における公害防止組織の設備に関する法律
廃棄物・リサイクル	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	<b>状況</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 環境関連法規への違反はありません。</li> <li>● 遵守事項における当社での評価も問題ありません。</li> <li>● 関係者当局よりの違反等の指摘及び近隣よりの苦情は過去3年間ありません。</li> <li>● 実施施工した現場において、建設リサイクル法・廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき適正に処理を行いました。</li> </ul>
	包装容器リサイクル法		
	家電リサイクル法		
	食品リサイクル法		
	建設リサイクル法		
	自動車リサイクル法		

# 取組実績と評価（6）

## 5. 総評

環境活動を始めて15年、自己宣言から8年が経ちました。

2019年度は、全社としましてはガソリンを除く全ての項目で目標を達成する事が出来ました。ガソリンに付きましては前年比では削減していますが、今後も社員一人一人の「意識」が重要となりますので各自、目標達成に向け「高い意識を持って」尽力下さい。

2015年からの4年間は本社・静岡営業所の移転や、工場のスマートメーター導入など、大きな要因により大幅な削減目標の達成を実現する事が出来ましたが、2020年度は昨年度2019年度の数値が目標数値となりますので削減がより一層厳しくなります。大きな変更は期待できないため、今後は社員一人一人の小さな努力の積み重ねが重要となります。全社員の弛まぬ努力をお願いします。

2019年9月には国連気候行動サミットが開催され、グレース事務総長が

「今後10年間で温室効果ガス排出量を45%削減し、2050年までに正味ゼロ・エミッション達成するために、2020年までに自国が決定する貢献（NDCs）を強化するための具体的、現実的計画」を求めました。

地球環境を守るため「SDGs（持続可能な開発目標）」の達成に向け弊社としても社内だけの環境問題だけでなく、大きな視野を持ってお客様に提供する製品、サービスにも反映して社会貢献出来るようにして行きましょう。

2020年6月30日

代表取締役社長 大西 康仁